

中テレ・J A 共済カップ第 43 回福島県 U-12 サッカー選手権大会（仮）

（兼 福島県復興祈念杯 U-12 サッカー交流大会）

県南地区予選 要項

- 1 主 旨 この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成をめざすものである。
- 2 主 催 一般財団法人福島県サッカー協会、株式会社福島中央テレビ
- 3 共 催 読売新聞東京本社福島支局、福島民友新聞社
- 4 特別協賛 J A ・ J A 共済連福島（仮）
- 5 協 賛 モルテン
- 6 主 管 一般財団法人福島県サッカー協会 4 種委員会、県南サッカー協会 4 種委員会
- 7 日 程 2 0 2 4 年 4 月 2 9 日（月祝）、5 月 3 日（金祝）・4 日（土）
- 8 会 場 4 月 2 9 日 鳥見山公園多目的広場 2 面、熱海サッカー・ラグビー場 2 面
5 月 3 日 いわせ運動広場 2 面
5 月 4 日 いわせ運動広場 1 面
- 9 参加資格 （1）大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会（以下「J F A」という）第 4 種に登録した団体（チーム）であること。登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
（2）前項のチームに所属する小学 6 年生以下の選手であること。
（3）参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
（4）参加チームは傷害保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していること。
（5）出場チームはエントリー期間内にエントリー表を提出すること。
- 10 参 加 料 1 チーム 3, 0 0 0 円を、大会日毎に本部へ支払うこと。
- 11 チーム構成 （1）チームの編成は、引率指導者 1 0 名エントリーの中から 2 名以上 5 名以内、選手 1 6 名以内とする。
（2）引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
（3）複数チームエントリーする場合、監督・コーチは重複可とする。

(4) 大会当日、ベンチ入り指導者を2名迄追加可とする。ただし、指導者のエントリー枠10名の範囲内とする。また、エントリー済みの指導者全員が不在での当日2名追加は認めない。(必ず1名はエントリー済みの指導者が当日ベンチに入ること)

12 審 判 (1) 審判は1人の主審と2人の副審と第4の審判が指名される。
(2) 審判は、帯同審判(4人制)とする。

13 表 彰 (1) 優 勝：カップ・メダル・表彰状を授与する。
準優勝：楯・メダル・表彰状を授与する。
※上位1～5位チームを、2024年6月1日～2日に福島空港公園で開催する福島県大会の出場権利を得る。ただし、日本スポーツ少年団に登録した団体(チーム)であること。
※上位6～10位チームを、2024年7月20日～21日に会津総合運動公園で開催する第13回福島県復興祈念杯U-12サッカー交流大会へ推薦する。

14 組み合わせ 2024年4月21日(日)、19時からあみだくじにて組合せ抽選会を行う。

15 大会形式 (1) 36チームのトーナメント戦によって実施する。
(2) 前年度実施した、福島県U-11交流サッカー大会県南地区予選の上位6チームをシード枠とする。

16 競技者の数および交代
(1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
(2) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
(3) 試合開始前の1チームの競技者の最少人数は6人以上とし、試合中いずれかのチームが6人未満になった場合、試合は続けないものとし、当該チームを0-3の敗者とする。

17 競技規則 JFA制定「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
但し、以下の項目については大会規則を定める。
(1) 試合時間は30分(15分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
(2) 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は次のとおり。
PK方式により次回戦への進出チームを決定する。但し優勝決定戦は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する。尚、延長戦に入る前のインターバルは5分、PK方式に入る

までのインターバルは1分とする。

- (3) ベンチに入ることができる人数は、指導者2名以上5名以内、選手16名以内とする。
- (4) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度1名の指導者が伝えることができる。
- (5) アディショナルタイムの表示については実施しない。
- (6) 暑熱下においては、前・後半の中程で飲水タイム、クーリングブレイクを採用する。飲水タイム、クーリングブレイクの有無を前・後半開始前に両チームへ通告する。
- (7) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
- (8) 本大会に参加する選手は、JFAの発行した選手証を持参しなければならない。但し写真登録により顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
※選手証とは、JFAweb登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。
- (9) ピッチサイズは原則次のとおり推奨する：縦68m・横50m・ペナルティエリア12m・ゴールエリア4m・センターサークル半径7m
- (10) ゴール： ゴールの内の縦2.15m、横5m
- (11) ユニフォームはエントリーにて登録したユニフォームを着用すること。
ただし、ユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
また、フィールドおよびゴールキーパーの正・副2組のユニフォーム（計4組）の色は、明確に異なる色にする（同系色または類似色にしない）こととし、チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
選手番号については1～99を使用し0は認めない。
- (12) 大会期間中、異なる試合において警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- (13) 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
- (14) 中断及び対応について：試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。
再開方法は中断から20分様子を見て、再開が難しい場合、前半終了前はスコアに関係なく再試合とする。前半終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。
- (15) ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (16) アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色を着用する場合はその色を認める。

- 18 懲 罰 (1) (一財) 福島県サッカー協会理事会の決定に基づき、中テレ・JA 共済カップ第 43 回福島県 U-12 サッカー選手権大会に大会規律委員会を設置し、(一財) 福島県サッカー協会規律・裁定委員会は(公財) 日本サッカー協会の懲罰規定第 3 条(以下、懲罰規定という)により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規定第 25 条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。
- (2) 前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び 1 試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
- (3) 委員構成
委員長：(一財) 福島県サッカー協会 大井川恵一規律・裁定委員会委員長
委 員：円谷進一、渡部哲生、最上智
- 19 開 会 式 実施しない。
- 20 閉 会 式 5 月 4 日(土) 決勝戦終了後に実施する。
(表彰対象チームは参加すること)
- 21 監督会議 監督会議を、会場毎に 9 時 0 0 分から本部前にて行う。(開催する全ての日)
各チーム指導者 1 名参加すること。
- 22 マッチコーディネーションミーティング
- (1) 1 回戦については、大会初日の監督会議時に行う。
(F P・G K (正副) ユニフォーム全てを持参すること)
- (2) 2 回戦以降については、各試合競技開始時刻の 4 0 分前に本部にて開催し、審判立ち合いに関しては本部で対応する。
- (3) メンバー表は 3 部を当該試合の 4 0 分前までに本部に提出すること。
- (4) 帯同審判の方は、大会本部へ 1 日 1 回審判証を提示し確認をすること。
※審判証とは、J F A w e b 登録システム「K I C K O F F」から出力した審判証を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。
- 23 参加申込 参加チームは、エントリー表(Excel データ)に必要事項を入力し、4 月 2 0 日(土)までに下記申込先へデータの送信を完了すること。

<申込先> 県南サッカー協会 4 種委員会 4 種委員長 伊藤 勝紀

Mail : kattsu0928@yahoo.co.jp

※メール表題を「【チーム名】中テレエントリー表の送付」として下さい。